



授業概要

新しいメディアは社会をどう変えるのか、もしくは社会は新しいメディアとどのように付き合うのかといった問題を文化人類学のエスノグラフィ法を用いて考えます。

文化人類学的メディア研究はこれまででありそうでない分野でした。しかし、ますます新しいメディアの影響を強く受けるようになった現代社会において、特に人々の生活に肉薄しつつ21世紀のメディアと社会が作り出す新しいアイデンティティ、まなざし、共同体について考察します。

成績評価

授業ごとのミニレポート 40%
期末レポート 60%

社会の認識

メディア人類学入門

担当教員 藤野 陽平



北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院
メディア・コミュニケーション部門 メディア文化論分野 准教授

授業計画

1. 「文化人類学」とは何か① ガイダンス
2. 「文化人類学」とは何か② 文化と文化相対主義
3. 「文化人類学」とは何か③ エスノグラフィと人類学が指すもの
4. 入門メディア人類学① モノとメディアの人類学
5. 入門メディア人類学② メディアが創る宗教／に造られる宗教 1
6. 入門メディア人類学③ メディアが創る宗教／に造られる宗教 2
7. 入門メディア人類学④ モノが生み出す情動 1
8. 入門メディア人類学⑤ モノが生み出す情動 2
9. メディアとしての観光実践① ダークツーリズムから考える観光とメディアの関係 1
10. メディアとしての観光実践② ダークツーリズムから考える観光とメディアの関係 2
11. メディアとしての観光実践③ 地図・植民地・国立博物館
12. メディアと社会の人類学 台湾の日本神信仰とメディア 1
13. メディアと社会の人類学 台湾の日本神信仰とメディア 2
14. メディアと社会の人類学 台湾の日本神信仰とメディア 3
15. メディアと社会の人類学 台湾の日本神信仰とメディア 4

到達目標

1. メディアがいかに社会を作り、社会がいかにメディアを作っているのか、その相互作用を理解する。
2. 人類学的手法を用いて、1を理解する方法を身に付ける。
3. メディアを理解することで、アイデンティティ、コミュニティ、マテリアリティ、まなざしといったものを理解する。
4. 観光実践がいかにメディアによって創られているかを理解する。